

# 厚木市立三田小学校 学校だより

## さんさんさんだ

発行者 厚木市立三田小学校  
 校長 清水 良  
 所在地 厚木市三田 5 1 5  
 電話 046(241)1040  
 Email sanda-es@edu.city.atsugi.  
 kanagawa.jp  
 6月1日現在児童数 788名  
 令和元年6月19日発行



### 「平和を語り継ぐ」

校長 清水 良

6月7日(金)に気象庁が、関東地方の梅雨入りを発表しました。今年の梅雨入りは平年と同時期だそうです。雨が降る日が多くなりますが、梅雨の晴れ間をぬうように、プールでの学習、田植えや校外学習など順調に実施しています。過日行われた児童会行事「三田まつり」も児童の主体的な活動で、各学年・学級で楽しく交流が深まりました。

さて、話は変わりますが、厚木市は昨年8月4日に、沖縄県糸満市と友好都市の締結を行いました。厚木市と糸満市はこれまでスポーツや平和学習を通しての青少年交流などが行われ、今後も様々な分野での交流が行われることと思います。

糸満市のある沖縄県は、6月23日を「慰霊の日」と定め、特別な日として扱っています。沖縄県は太平洋戦争末期に唯一の地上戦が行われ、とくに糸満市は最後の激戦地となり、多くの住民が戦火の犠牲となった地域でもあります。1945年6月23日に沖縄戦の組織的戦闘が終結したことにちなみ、この日を戦没者の霊を慰めて平和を祈る日としています。毎年、この日には糸満市摩文仁(まぶに)の平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が行なわれます。厚木市でも、平和学習の取組の一つとして、この「慰霊の日」を受けて、小学6年生で戦争と平和について考える学習を6月に行います。

三田小では、毎年2学期に6年生が、戦争時代を生き抜いてきた方から直接お話を聞く機会を設けています。昭和・平成・令和と時代が移り変わり、戦争のことを知っている世代が少なくなると、どのように戦争の悲惨さや平和の大切さを語り継いでいくかが課題となっています。沖縄の6月23日、原爆の日の広島8月6日、長崎8月9日、そして終戦の日の8月15日など、平和を願うときに忘れてはならない様々な節目で、戦争と平和を考え語り継ぐことで、平和な世を築いていきたいと思ひます。

### 三田小 ちょっといい話

今年度、私は掃除の時間に2年生の「特別清掃」略して「特掃」を受け持っています。普段の教室掃除を離れて、花の水やりをしたり草むしりをしたりします。毎週メンバーは変わりますが、どの班の子ども達もとても一生懸命取り組むことができます。ビニール袋いっぱいになった雑草を重そうに抱えて「どこへ運ばばいいですか。」と言ってくる子ども達の笑顔は充実感に溢れています。

「雨で今日はお休みです。」と伝えるとそれはそれは残念そうに帰っていきます。

「特掃」のみんなの力が学校のためになっていることを伝え続けながら、これからも子ども達と「特掃」を行っていききたいと思ひます。(総括教諭)



## <第1回学校運営協議会>



5月22日(水)に今年度第1回の学校運営協議会が行われました。今回は、今年度三田小学校はどのような学校を目指しているのかという「学校経営方針」を校長から説明し、承認をいただきました。その後、「各グループの活動報告」を行いました。前回作成した活動イメージに、学校の畑の土づくり等、実際に活動して下さっている内容を加え、さらに活動の幅が広がっていくことを感じています。

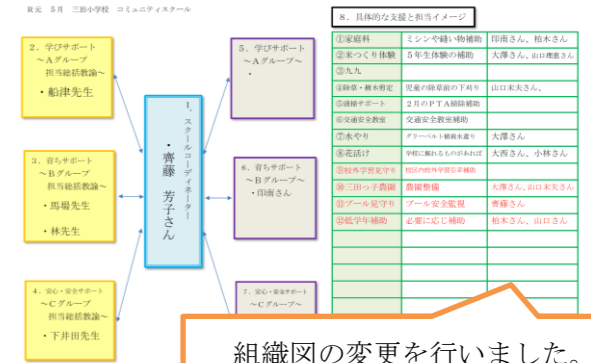
先日、スポーツテスト週間において、新体力テストを実施しました。その際、学校運営協議会への依頼の結果、2日間に渡り10名を超える方々にお手伝いをいただきました。詳しくは下段にて紹介いたします。

よりよい三田小学校、三田小校区となりますよう、今後ともご支援ご協力をお願いいたします



学校運営協議会とは？

- PTAの方や地域に住む様々な立場の方に学校運営協議会委員となっただき、これからの三田小学校の子ども達を支え、応援するために話し合いをしています。



組織図の変更を行いました。また、赤字の内容を新たな活動として付け加えました。

